



めいぼく
学校法人 明睦学園

ひのさきこどもえん（仮称）保護者説明会



学校法人 明睦学園について

昭和53年3月設立

愛知県豊橋市で幼稚園を開園

運営施設：豊橋市、田原市、蒲郡市

認定こども園、小規模保育事業所

放課後児童クラブ、子育て支援センター

児童発達支援事業所・放課後等デイサービス

児童育成支援拠点事業 その他



理 念

目と心のゆきとどく、そして共に育つ

教育・保育目標

教育・保育要領（健康・人間関係・環境・言葉・表現）を基本とし、これに適切な環境を与えて、豊かな情緒とたくましい体力と愛情と道義とを育てて、そして幼児の持つ無限の可能性を伸ばす

意欲のあるたくましい子に　　生き生きと自発的にあそべる子に
思いやりのある感受性の豊かな子に
創造力豊かで、知恵の出せる（知恵のある）子に



大切に考えていること

1. 今、このことは（保育・考えは）
子どもにとって どうか
1. 楽しい を 常とする
1. 子ども一人ひとりに 1日にひとつの感動を
1. 感性の豊かな人に育ってほしい
（感性教育を大切に）

保育内容

ひとりひとりを大切に

子どもたちは、育ってきた環境によって、ひとりひとり発達の仕方がみんな違います。認定こども園としての機能や特質を十分に発揮し、入園してきた時の子どもを、その子らしさとして、そのまま受け入れ、その子に合った方法、速度でその子のよい所を伸ばしてあげたい、一日に一つでも感動を与えてあげたいと思っています。



保育内容

強制，おしつけの教育は子どもを伸ばさない

裸足をはじめ、どろんこも、かけ足も強制はしません。言葉をかけながら、自分でその気になるのを待ちます。大人が温かい愛情で包み込んで育てることによって、やさしさや思いやりが育つと信じていますので、園の先生たちみんなが、自分のクラスに関係なく声をかけ世話をしています。子どもたちは、本当に園生活が好きで、いきいきと楽しく遊び、学んでいます。



保育内容

自分のことは自分でできる子に

小学校に入学するまでに、自分のことは自分でできる子、自分の頭で考え、行動できる子、友達とかかわって、自発的に遊べる子に、そして知恵の出せる（ある）子になれるよう皆で心を配っています。

日々、小さな子どもたちに教えられることがいっぱいです。

かわいい子どもたちの宝石のような言葉やひとみに感動する毎日過ごしています。



保育内容

全職員で全部の子どもたちを看ていく

担任一人にクラス運営を任せるのではなく、全職員で協力して「子どもにとって」を優先に考え、皆で知恵を出し合い保育を行っています。職員同士が互いに尊重し合い、どんなことでもすぐに直接伝え合い「子どもの成長、発達にとって」今できることを正規、非正規、調理員、用務員、すべての職員で行っています。



保育内容

どのような子でも受け入れていきたい

基本的な考えは、どのような子どもであっても決して差別することなく平等に受け入れていきたいと考えています。1人1人の個性を大事にし、子どもの「その子らしさ」を大切に、認め、見守っていくことで、子ども達は、思いやりの心が培われ、障害の有無に関わらず仲良く遊び、互いに助け合い、優しい心が育まれていきます。また、乳幼児期の発達速度は、個々によって大きく異なるため、対応方法も個々に合わせて援助していく必要があり、園全体で子どもたちをみていくだけでなく、保護者の方が当法人の教育・保育方針に共感してくださり、連携していくことがとても重要です。



ひのさきこどもえん（仮称）

名称の由来について

新たに東郷町に誕生する「ひのさきこどもえん」は、豊橋市・蒲郡市・田原市で施設運営を行ってきた学校法人明睦学園の新しい仲間です。距離は離れていても、各施設と連携し学園の理念に沿った温かい教育・保育を提供してまいります。

名称には、「陽（ひ）」のあたたかさと、花が開く・笑むという意味を持つ「咲（さき）」の2つの想いを込めました。

明睦学園の各施設の思いや、たくさんの人たちの温かな「陽」が照らされる環境で、子どもたちの個性と無限の可能性が花開き、地域にたくさんの笑顔が「咲き」誇る。そして、地域の人たちと「共に育つ」居場所でありたいという願いが込められています。

ひのさきこどもえん（仮称） 計画地

愛知郡東郷町大字春木字新池33番地（仮）

敷地面積：合計5,840m²
駐車台数：計66台
建物規模：木造平屋建て
約1,583m²

みんなのひろば

スタッフ用駐車場
34台

南部
児童館

東郷町立 南部児童館

園舎

園庭

送迎用駐車場
32台

Google

建物イメージ



外観イメージ



外観イメージ



外観イメージ



終わりに

- 可能性が無限大にある子どもたちにいろいろな体験をさせてあげたい。
- 信じられる大人を一人でも多く作ってあげたい。
- 明日も園に行きたいと思ってもらえるように、子ども達に感動を与えたい。
- 保護者の方々と話し合い、理解・共感して頂き共に子ども達をみていきたい。
- 何よりも「子どものことを」最優先に考え、教育・保育していきたい。
- この土地に合った園づくりをしていきたい。

ご清聴ありがとうございました。

